

# 令和6年度 学園祭

テーマ 『Oh my goodness!～なんて楽しい学園祭なんだ!～』

9/2 弁論大会 9/3 体育祭(出雲ドーム) 9/5 文化祭(クラス企画・ステージ発表・模擬店)



## 体育祭

優勝 3年5組 (ホットピンク)  
2位 3年1組 (サンセットオレンジ)

## ポスターコンクール

最優秀賞 森崎奈々恵 (2・4)  
優秀賞 布野陽菜佳 (2・6)

## 文化祭

弁論大会最優秀賞 田中 広人 (3・5)

今年の学園祭は、台風10号の接近に伴い、安全面等を考慮して当初より大幅に日程を変更しての実施となった。  
学園祭1日目は、9月2日午後より弁論大会を行った。2日目は、9月3日に体育祭を出雲ドームで開催し、大いに盛り上がった。3日目は、9月5日に文化祭を本校にて行い、各クラス企画、ステージ発表等賑やかで工夫を凝らした催しとなった。

# 出雲 北陵月報

No. 469

令和6年9月30日  
出雲北陵中学高等学校  
土江明文社 印刷

## 吹奏楽部・合唱部 全国大会アベック出場決定!

### 吹奏楽部

第65回全日本吹奏楽コンクール中国大会

時 8月24日

於 島根県民会館大ホール

課題曲…Ⅲ 「メルヘン」/酒井 格  
自由曲…エルフゲンの叫び/G. ローレンス

### 合唱部

第91回NHK全国学校音楽コンクール

時 9月8日

於 廿日市文化ホールウッドワンさくらびあ

2年連続で全国コンクールへの出場を逃していることもあり、全国コンクール出場を目指してかなり気合いが入っていた。特に今年度は、自由曲を作曲家の先生に作っていただき、本校合唱部オリジナル作品の発表の場となることもあり、常に緊張感が付きまとった取り組みとなった。当日は、日頃の練習の成果を十分に引き出し、場面ごとの情景描写をハーモニイや音色の変化、更にはパフォーマンスで表現するなど、細部までこだわった演奏を繰り広げた。しかし、結果は銅賞で全国コンクールへコマを進めることができなかった。近年、各校の実力が拮抗しており、中国地区の代表枠1校をめぐっての戦いは、熾烈さを極めている。来年度に向けて、更に研鑽を積んでいきたい。



今年度のコンクールは、NHKコンクールと課題曲が違い、アカペラの曲であったり、自由曲も委嘱作品2曲を通して演奏したりするなど、練習時間が十分に取れない中で、必死に取り組んだ。本番では、練習の成果を十分に発揮し、ホール一杯に北陵サウンドを響かせ、悔いのない演奏をし、生徒達の表情も満足感で満ちていた。結果、金賞を受賞し、2年ぶりに全国大会へコマを進めることができた。全国大会に向けて、更に音楽の精度、クオリティを高めていきたい。

時 9月21日

於 島根県民会館

## 卓球部

WTTユースコンテスター オトチエッツ 2024

時 8月27〜29日

於 オトチエッツ(スロベニア)

WTTユースコンテスター ヴアラジュティン 2024

時 8月31〜9月2日

於 ヴアラジュティン(クロアチア)

決勝トーナメント1回戦敗退(ベスト64)

決勝トーナメント1回戦敗退(ベスト64)

○大会総評



小野泰和(35歳)が19歳以下の日本代表として国際大会2大会に参加した。オトチエッツで開催された国際大会では3位に入賞することができたが、ヴアラジュティンで開催された大会ではイングラランドの選手に敗れ、上位進出はならなかった。これから取り組むべき課題が明確となったので、今後の練習で克服し、11月にスウェーデンで開催される世界ユース選手権で上位入賞できるように引き続き頑張りたい。

(顧問 古瀬泰之)

### 美術部

文化祭展示「百間は一見にしかず」  
時 9月5日  
於 本校美術棟



一学期の授業作品や、夏休みに制作した新作を中心に展示会を行った。運営や当日の受付も生徒が行う手作りの展示会で、一生懸命さが観た人に伝わる良い展示会となった。数年ぶりに似顔絵コーナーも復活し、多くの方にご来場いただきましたこと、この場を借りてお礼申しあげます。  
(顧問 石倉 正)

### 写真部

#### 令和6年度撮影技術大会

時 9月6・7日  
於 国立三瓶青少年交流の家  
東京工芸大学から5名の先生方を招き、高文連写真専門部撮影技術大会が実施された。島根県の高校写真部が一堂に会し、撮影会や作品講評会、そしてワークショップを通じて撮影技術を向上させることが目的である。  
本校からは1・2年生18人が参加した。本校は三瓶コースの担当となったが、生徒達は西の原・東の原で楽しみながら作品制作に取り組みんでいた。本校写真部の可能性を感じた大会であった。この経験を今後の作品制作に生かしてもらいたい。  
(顧問 村上 学)



### 吹奏楽部

#### 第37回全日本マーチングコンテスト島根県大会

時 9月15日  
於 カマリアーナ  
本年度は「アメリカ」をテーマにした委嘱作品でマーチングに取り組んだ。8月下旬からは本格的に練習を再開し、約3週間程度という短い練習時間だったが、生徒達はよく努力し、本番では素晴らしい演奏演技を見せ、会場を魅了した。結果、金賞を受賞し、中国大会への出場権を獲得した。10月に広島で行われる中国大会では、島

根県代表としての誇りを持って演奏演技ができるよう、また全国大会に出場できるように、引き続き精進していきたい。  
(顧問 竹内康貴)

### 男子ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニス選手権大会  
時 9月14・15日  
於 浜山公園テニスコート

- 7ペアが新人戦でのシード権獲得
- 2位 川角光夢(22歳)・三上瑛大(15歳)
  - 3位 河野穂希(13歳)・岡田隆聖(21歳)
  - B 8 三島綾太(12歳)・山下柊人(15歳)
  - B 16 高木映瑠(14歳)・金森剛士(13歳)
  - 富岡光輝(12歳)・川原 真(11歳)
  - B 32 桑原佳吾(25歳)・倉本晃汰(11歳)

優勝を目指し、新チームで挑んだ初めての公式戦であったが、一歩届かなかった。この悔しさを忘れずに、新人戦では団体、個人とも優勝できるようにしっかりと準備していきたい。  
(顧問 佐々木雄志)

### 女子ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニス選手権大会  
時 9月14・15日  
於 浜山公園テニスコート

- (ダブルス)
- 2位 曾田珠凜亜(13歳)・森田早貴(14歳)
- 3位 落合 遥(14歳)・栗原奈々(25歳)
- B 16 杉谷 皐(24歳)・高野愛未(24歳)
- 飯塚葉月(22歳)・今川 碧(25歳)
- (シングルス)
- 1位 森田早貴
- 3位 落合 遥、杉谷 皐

新人戦に向けて更に強化をしていきたい。たくさんの方の応援有難うございました。  
(顧問 金森 快)



### 野球部

島根県高等学校秋季野球大会  
時 9月13日  
於 県立浜山球場

本校 0-6 出雲  
○大会総評  
選手権大会予選敗退からちょうど2ヶ月後、同会場、同ベンチで初戦を迎えた。大社高校の甲子園での活躍の影響もあり、出雲の野球熱が高まっている中、選手達は本気で中国大会出場を目指して粘ったが力及ばなかった。当日は、選手権大会よりも暑い気象条件の中での試合となり、体力不足を痛感した。一冬越えて、フィジカルの強化に努め、来年度の躍進を誓いたい。当日はご声援有難うございました。  
(顧問 畑 宗一郎)

### テニス部

#### 島根県テニス新人大会

時 9月14日  
於 石見海浜公園・益田運動公園  
(男子シングルス) 2回戦敗退  
(男子ダブルス) 2回戦敗退  
(女子シングルス) 1回戦敗退  
○大会総評  
中国大会出場を狙ったが、県大会で勝ち続ける力がまだついていなかった。地区予選後1ヶ月でテニスは向上し、次に向け練習に励みたい。  
(顧問 石川剛豆)

### 陸上競技部

#### 第70回島根県高校新人陸上大会

時 9月14・15日  
於 益田  
飯島翔太郎(16歳) 一年男子 5006.000m 5位  
高橋昂聖(11歳) 一年男子 6位  
○大会総評  
高湿度のグラウンドコンディションの中で2名が入賞した。また、4名が自己記録を更新した。これからの伸びしろに期待して、今後のトレーニングを頑張りたい。  
(顧問 別所美喜子)

### 卓球部

#### 全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)

時 9月13・15日  
於 島根県立体育館

- (男子シングルス)
- 3位 大村 心(22歳)
- 5位 三好蒼空(12歳)
- (男子ダブルス)
- 優勝 三好蒼空・金丸 陽(12歳)
- 2位 大村 心・肖 駿駿(23歳)
- 3位 福田健人(16歳)・小林直喜(11歳)



ダブルス優勝の三好蒼空(右)・金丸陽  
○大会総評  
全日本選手権の出場権を得ることができなかつたが、次の目標に向かって頑張っていきたい。  
(顧問 古瀬泰之)

### 令和6年度 全国高等学校総合体育大会優勝報告会



時 9月13日  
於 島根県庁講堂  
本年度の全国高校総体の優勝した島根県代表の選手一同が県庁を訪れ、丸山県知事に報告をさせてもらった。  
本校からは、卓球男子シングルスで県勢として初優勝を飾った小野泰和が参加した。小野は、チームの仲間や保護者の応援が優勝の大きな力になったことを報告し、世界で活躍できる選手になりたいと今後の目標も力強く話した。

### 第63回島根県高等学校音楽コンクール

時 9月10日  
於 島根県民会館  
本校からは声楽部門へ7名、金管楽器部門へ11名、木管楽器部門へ14名の計32名が参加した。参加した生徒は北陵高校生らしい素晴らしい演奏を披露し、結果は以下の通りとなった。  
○金管楽器部門 3位 有富葉歩(37歳)  
○木管楽器部門 3位 竹内あこ(16歳)  
その他、各部門で多数上位入賞を果たしたが、本年も本校が多数上位入賞を果たすことができたが、これも偏に日頃からご指導いただいている音楽コースの先生方、応援していただいている地域の皆様、保護者の皆様のお蔭であり感謝致しております。今後も変わらぬ精進していきたいと思っております。変わらぬご支援賜りますようお願い致します。  
(音楽科 竹内康貴)

秋のオープンキャンパス開催

時 9月22日  
8月の夏のオープンキャンパスに続き、今月は秋のオープンキャンパスを実施した。夏と同様、模擬授業・受験講座を実施し、その後部活動体験を実施した。  
中学校でも部活動体験はもちろん、凧作りやフルーツ飴作りなど、中学独自の行事も実施し、多くの小学生の皆さんにご参加いただいた。



高校2年生と中学生が、校内及び校外周囲の道路脇の除草作業を行った。短時間の作業であったが、残暑の中、生徒達は熱心に活動することができた。

高校2年生・中学生による除草作業

時 9月6日

保育実習

時 9月12日

高校3年生普通コースの保育系列選択者が出雲市内3ヶ所の幼稚園、保育園で保育実習を行った。当日は、天気が良く、屋内外で各園の日程に沿った活動を行った他、事前に生徒が準備していた出し物の発表や絵本の読み聞かせ、手作りおもちゃを使った遊びをさせていた。貴重な経験となった。  
子供達の年齢や場面に応じた言葉かけ、接し方など、多くのことを学ばせていただいた。  
お世話になった実習施設の皆様に、お礼を申し上げます。



進路講話(進学・就職)

時 9月9日  
於 黎明ホール

1年生を対象に本年度2回目となる進路講話が行われた。ファイナンシャルプランナー長尾真一様を講師としてお招きし、「進路選択とキャリアデザイン」というテーマでご講演いただいた。  
長尾様には、社会で求められる人材や世

の中にある職業、進路選択と将来の職業の関わりなど、進路を実現するためにどうすればいいかを具体例を挙げながらお話いただいた。生徒は熱心にメモを取りながら将来の目標に向けて真剣な眼差しで聞いていた。

中学校

卓球部

全日本卓球選手権カデットの部島根県予選大会  
時 9月1日  
於 松江市総合体育館

男子シングルス

- 優勝 岡本悠希(中1)
- 2位 中司良心(中1)
- 3位 隈元慶真(中1)
- 4位 住田光亮(中1)
- 小林麟太郎(中2)

男子ダブルス

- 優勝 中司良心・住田光亮
- 2位 小林麟太郎・岡本悠希

大会総評  
右記の結果により、U13の部とダブルスの部で11月に長崎県で開催される全国大会への出場権を獲得した。(顧問 相場翔太)

出雲科学館理科学習(中学2年)

時 9月9日

今回は「植物のからだのつくり」とはらきをテーマに、実験室で班活動による実習を行った。前半は光合成が葉のどこで行われているのかについて学習した。まず、オオカナダモの葉のプレパラートを作り、双眼生物顕微鏡を使って細胞のつくりを観察した。その後、十分に光を当てた葉と暗所に数日間置いた葉をヨウ素液で染色し、違いを顕微鏡で観察した。後半は光合成に必要な水がどのように経路で取り入れられているのかを知るために、赤色の水で染色したアスパラガスとキクの茎をミクロトームという器具で薄く切り、中の水の通り道を双眼生物顕微鏡で観察した。  
生徒達は真剣に取り組み、プレパラートのつくり、顕微鏡やミクロトームの操作を習得し、光合成と植物のからだのつくりとはたらきについて一層理解を深めた。



保育体験学習

9月11日に、3年生は市内の2ヶ所の幼稚園、保育園で保育体験実習を行った。園児達と運動会の子行演習や外国語の授業など、様々な活動を行った。  
日頃幼児と接する機会が少ない生徒達にとって貴重な経験をさせていただいたお世話になった幼稚園、保育園の皆様、本当に有難うございました。



令和6年度第20回少年の主張出雲市大会銅賞受賞

時 9月3日  
於 アクティひかわ



今年も市内の15校の代表生徒が一堂に会し熱弁をふるった。本校代表の松原は、自分の名前の由来を知ってからの得た人との接し方について発表した。厳かな雰囲気の中で、最終弁論者という緊張感もあったが、自分の思いをしっかりと伝えることができた。練習から発表までの貴重な体験を今後の中学生生活に生かして欲しいと思う。(担当 別所美喜子)

男子バスケットボール部

第5回島根県U15バスケットボール選手権大会  
出雲・雲南地区1次予選会  
時 9月1・7日  
於 斐川第一体育館  
出雲市総合体育館

一試合目	本校	100	平田
二試合目	本校	53-100	H.C
決勝戦	本校	87-55	BLAZE BULLS

大会総評  
新チームで最初の大会であったが、一生懸命戦うことができた。ご声援有難うございました。



第3回島根県中学校新人バスケットボール選手権大会

時 9月8・21日  
於 出雲市総合体育館

〈予選トーナメント〉  
一回戦 本校 81-35 木次  
決勝戦 本校 97-55 BLAZE BULLS  
予選トーナメント 1位  
準決勝 本校 66-42 出雲一  
決勝戦 本校 66-50 BLAZE BULLS  
優勝 県新人戦出場決定



女子バスケットボール部

第5回島根県U15バスケットボール選手権大会  
出雲・雲南地区1次予選会  
時 9月1・7日  
於 斐川第一体育館  
出雲市総合体育館

一試合目 本校 43-69 出雲二中  
〈4位決定トーナメント〉  
一回戦 本校 66-59 Luminous  
決勝戦 本校 66-27 河南中  
最終結果 4位 県大会出場決定

〈予選トーナメント〉  
一回戦 本校 65-45 平田  
二回戦 本校 64-50 斐川西  
1位通過

準決勝 本校 57-40 河南  
決勝 本校 39-68 INMO DREAMS  
最終結果 準優勝 県新人戦出場決定

大会総評  
予選トーナメントでは連戦の中、勝ち切ることで良かった。慢心せず県大会に向けて練習を重ねていきたい。(顧問 和田拓真)

## 作品と研究

令和六年度 学園祭

校内弁論大会 最優秀賞

### 『幸せを味わう』

田中 広人(3・6)

誰もが幸せを感じる時はいつだろう。老若男女、国籍、生まれ育った環境、どんな違いがあろうと、全ての人が幸せになる瞬間とはいっただろうか。私は、空腹のとき、おいしい料理を口いっぱいにはおぼつたときだと思う。おいしい料理を食べると辛い人、悲しくなる人なんていないと思う。誰か食べても必ず幸福感を味わう。それが料理ということだ。私は将来料理人になりたいと考えている。その上で、料理の魅力について少し伝えたい。

好きな料理は、と聞かれて何を思い浮かべるだろうか。おすし、ラーメン、カレー、パスタ、いろいろとあるだろうが、私の好きな料理は、「きんぐ」というお店のカツ丼、うどん、「天心」というお店のしょうゆラーメン、やきめし、「なにわ」というお店の太巻きずしだ。私は、この店のこの料理が好きと答える。それほど、それらの料理達は他とは突出した、特別なおいしさがある。食べた瞬間、一口目から思わず笑みがこぼれてしまう、そんなおいしさだ。そして、いづれの料理にも共通して言

えるのが、満腹になって店を出るとき、「また食べたい」と思えることだ。一八年間、いろいろな料理を口にしながら、満腹になつてもなお、また食べたいたいと思える料理は数少ない。不思議なほどに飽きが来ない。紹介したどのお店も、親世代が子どものころからあるような古くから営まれているお店だ。長年愛されるお店とは、やはり並大抵な料理は出さない。しかし、「きんぐ」という店は実はもう無くなっている。閉店が決まったとき、そのお店には、出雲で見たことのないような長蛇の列ができていた。そのあまりの行列に、私は最後にその料理を食べることができなかつた。しかし、閉店後にそのお店に入らせてもらった。厨房にも入らせていただき、ましてや料理のレシピさえいただいた。私にとっては夢のような経験だった。そして店主のおじいさんが、「簡単には再現できないよ。越えてみなさい。」とおっしゃられた。その瞬間、私に明確な目標ができた。この店の味を越えたらいいんだ、という目標だ。世代を越えて愛され、無くなるのを惜しまれる、また食べたいと思ってもらえる料理を作りたい、そう思った。そして、料理をおいしくさせる要素は味だけではないことも伝えたい。

それは、店の雰囲気だ。ここでは「天心」という町中華のお店を紹介するが、このお店の魅力は何といっても店主の低姿勢だ。いつ、どんなときであっても、会計の後には、お客の方を向いて礼をして、大きな声

で「ありがとうございます」とおっしゃる。それはお客が扉を出るまで、何度でも続けておられる。店主の低姿勢からは、いくら忙しくても、いくらお金をもらっていても、お客さんへの感謝を忘れないという気持ちが伝わってくる。だからこのお店のお客さんは、全員が欠かすことなく、「ごちそうさまでした」と厨房に言つて帰られる。店主とお客、お互いに気持ちよく食べて帰れる。それが、長年愛されるお店である大きな理由の一つだろう。そしてそれが料理のおいしさを倍増させている。どれだけ味がよくても、店員が不愛想だと行く気がなくなる。料理は味さえよければいいという訳ではないのだ。

よく見聞きするミシュラン星付きレストラン。あの星というのは、その料理のために旅行をする価値がある、という意味を持つている。それがどれだけすごいことか。私達は一般的に旅行をするとなれば場所を決めて、ついでおいしい料理を探す、という感じだろう。しかし、それが、料理が第一優先されるほどの価値がある、ということだ。それを知つた私は、更に夢が膨らんだ。自分も、そんな、世界中から人々が幸せを求めてやって来る料理を作りたいと思った。

ここまで料理について軽くお伝えしたが、私は本当に料理が大好きで、その魅力の人々に伝えたいと思つている。料理にはものすごい力が秘められていて、大げさかもしれないが、世界平和にだつてつながるかもしれない。欲張りだが、私は地元内外から長年愛される星付きの店を開きたいと思つている。私の夢を応援してくれている家族、友人、先生方や、自分に関わってくれた全ての人々に今までの感謝を「ありがとうございます」の気持ちを、今すぐに形にはできないかもしれないが、いつか必ずこの夢を叶えて、恩返ししたい。その日までどうか応援し続けてもらえると本当に嬉しい。料理とは本当に幸せなものだ。さあ、明日はどんな幸せを味わおうか。

今月の  
1枚

令和7年度愛鳥週間ポスター鳥根県コンクール特選

定守古都乃  
(1・6)

